

西景広審発第9号
令和6年1月31日
(2024年)

西宮市長 石井 登志郎 様

西宮市都市景観・屋外広告物審議会
景観アドバイザー一部会
部会長 川崎 雅史

令和5年度第4回景観アドバイザー一部会の議題について【答申】

令和6年1月10日付西都デ発第19号にて諮問されました標記の件について、
別紙のとおり答申します。

議題 市営江上町住宅建替事業（計画策定段階協議）

【建物計画について】

- (1) 周辺のまちなみと調和させ、一体感を創出するためにも、建築物の外壁はYR系の低彩度色を基本とすると良い。また建築物による圧迫感の対応については前面道路が狭いため、敷地の高木による修景等ではなく、建築物の意匠や意匠に応じた配色で対応することが望ましい。

【植栽計画について】

- (2) 緑のつながりを創出させるためにも、駐車場に緑化ブロックを採用する等、道路敷地だけでなく敷地内部にも緑を配置することが望ましい。
- (3) 北側道路敷地は植栽の育成環境としては厳しいと考える。また前面道路幅員も狭く、高木を道路敷地に植えるとかえって公道に対して圧迫感を与えかねないため、道路敷地は低木を帯状に計画し、背面に中木を植えて、道路から敷地内の車が見えないように配慮することが望ましい。さらに高木を建築物際に植えて、道路面から階層的に緑が連続する立体的な緑化計画となるよう検討することが望ましい。
- (4) 道路敷地には耐陰性の高い種類で斑入り低木や花をつける低木を植えて足元をにぎやかにすることが望ましい。また、エントランス付近にも花木等を植え、にぎやかさを演出させた方が良い。
- (5) 外から視認できる隣地境界付近にも緑を設けることが望ましい。また植栽計画を進めるうえで、プラタナスなどの既存樹木の保全に必ずしもこだわる必要はなく、柔軟に対応することも本計画地では重要である。

【安全性について】

- (6) グレーチング等で側溝に蓋掛けしたり、敷地をセットバックして公開空地を設けたり等、道路敷地のオープンスペースをなるべく確保したうえで、歩行者に対する安全性や快適性を確保した道路敷地の景観づくりを検討いただきたい。

以上